

令和7年度1月定例教育委員会議事録

【日時】

令和8年1月16日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

10名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	竹村 智博
学校支援課長補佐	宮原 隆史
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

2 協議

- (1) 【非公開】 学校運営上の諸課題
- (2) 【非公開】 教職員の人事異動（転出予定者）
- (3) 7年度教育課程の反省と8年度の方角
- (4) 小中学校あり方検討委員会パブリックコメント
- (5) 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告
- (6) その他

3 報告事項

- (1) 市町村教育委員会連絡協議会報告
- (2) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

つい先日、新年の挨拶を交わしたかと思っていきましたが、もう半月が経過してしまいました。来週の火曜日の大寒を目前に、いよいよ1年で最も寒さ厳しい時期に入っていますが、今日は季節外れの温かさ、外に出ますと、タンポポやフキノトウが顔を出しそうな陽気です。でも今は寒中です。来週半ばあたりからかなり強烈な寒波の襲来が予想されていて、最低気温も2桁台との報道もあります。この時期では異常に寒暖の変化が激しいこの冬です。お互い、体調には十分気を付けたいものです。

さて、町内小中学校も3学期に入りました。この3学期は1年間のまとめの学期であり、令和8年度の方角を決する大事な学期でもあります。先日、校長会があり、年末年始休業の反省も行いましたが、どの学校も大きな事件事故等なく、平穏な休みを過ごす事ができた様です。また、各校の校長先生、3学期に向けて特に気合が入っているなという感じが致しました。この後で紹介します。

明後日18日の日曜日は、町公民館恒例の新春かるた大会、来週は、6月のほたる祭りに合わせて、辰野美術館で「地域創造巡回展」の為の打ち合わせ会が2日間、パークセンターにて開催されます。詳細はまた、この展覧会が近づいてきた時にお話ししますが、辰野美術館と、岐阜県飛騨市美術館、茨城県筑西市しもだて美術館、福井県大野市COCONOアートプレイスと、栃木県真岡市しもだて美術館が連携して実行委員会を立ち上げ、真岡市所蔵の久保貞次郎コレクション展を開催するものです。昨年6月から準備をして参りましたが、美術館としては大きな企画となります。これは向こうから「辰野美術館は面白い事を企画しているな」と思ったかどうか分かりませんが、何か辰野美術館に魅力など感じての声掛けだったのでしょうか。

さて、今日の定例教育委員会では、議事は特にございません。協議として、学校運営上の諸課題、今年度教育課程の反省、県費教職員の人事異動について等になります。それではよろしく申し上げます。

5 議事

なし

6 協議

(1) 【非公開】 学校の様子・運営上の諸課題について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」「1月校長会資料」を提示。

(2) 【非公開】 教職員の人事異動（転出予定者）

- ・宮澤教育長より説明。

資料として「令和7年度末 辰野町内小中学校 教職員人事異動名簿（県費）」を提示。

(3) 7年度教育課程の反省と8年度の方向

- ・宮澤教育長より説明。

資料として「辰野町内小中学校 今年度教育課程の反省」を提示。

(辰野西小)

- ・子どもが追求したくなる「問い」を大切に、子どもの意識を大切にした地域学習に積極的に取り組むクラスが出てきた。
- ・「どの子ども居場所がある楽しい学校」指導の前に理解。良いところを見つけ、認める事から始める事をお願いしてきた。自己肯定感が年々上がってきている。
- ・授業ミーティングを進めてきた。来年度も継続をしていくが、あり方も含めて検討していきたい。
- ・通知票を2期制にした。保護者懇談会を10月に設置したが、夏休み初めにも希望者との懇談会を設置したが、間隔が短く、新鮮味がなかった。7月の懇談会を止め、児童と担任の面談の機会を確実に確保する方向にしたい。
- ・水曜日の清掃は無くし、「ゆとりの時間」として40分程の昼休みにし、思い切り遊んだり、クラブ発表会等に使ってきた。継続していく。
- ・校舎の開錠は7時40分とし、継続していく。
- ・家庭訪問を止め、来年からは担任による「住居確認」としたい。
- ・「誰もが認められる楽しい学校」に近づく為、まず「楽しい学校」にする為、まずは先生が授業を楽しむ。

(辰野東小)

- ・職員会で「漢字の理解」「計算問題」が共に高い正答率であった事の理由を探ってみた。「やらされる単純学習」の無意味さ、「自分でやろうと思わなければ学力は身につかない」「やらされる勉強は子どもに悪い習慣を身に付けさせてしまう」「主知性を身に付ける事を目指したい」という意見が多かった。
- ・学習を楽しむ授業づくりのあり方を継続していく。

- ・午後の15分の学習をカットし、下校を早め、職員と子ども達の自由時間を作る。
- ・行事の削減に関しては「子どもが楽しめるもの」「挑戦できるもの」「誰かが活躍できるもの」は無くさない。
- ・「楽しい学校」づくりに向けて、職員と子ども達が協働して取り組む事ができた場面があった。先生方がクラスの子どもと「挑戦」してくれる事が出てきた。

(辰野南小)

- ・協働的な学習活動を取り入れていく。静かに話を聞ける子⇒話を聞く事に慣れてしまった授業からの転換を目指して、自分達で学びを進められる様な場面を徐々に取り入れる。
- ・読書のできる子に。町図書館の協力を得て、小学校高学年に読み応えのある本の紹介を依頼、30冊程纏めて貸し出しを受け、子どもに紹介している。
- ・地域との関わりが少なく、参加も受け身的、主体的な関わりを促す工夫が求められる。
- ・校内研究テーマ「子ども達が主体的に伝え合い、こたえ合い、受け止めるような授業づくり」をさらに進めて行く。

(辰野中)

- ・全国学調から。(国語)自身で考えた文章を読み返す際、語順や言葉遣い、段落の長さ等に着目し、より伝わりやすい文章にしようと推敲を重ねる生徒の姿が見られるようになってきている。(数学)数や図形の性質が成り立つ根拠を考える活動を位置づける。図や表、式等を用いて友に説明したり、根拠が分からない時に聞き合ったりする生徒の姿が見られるようになってきている。(理科)実験の目的を生徒が理解して進められる様、動画教材や学習カードを活用する。結果の予想がより明確に考えられる様になったり、実験を正しい手順で行ったり、自分自身で進められたりする姿が見られるようになってきている。(生徒質問調査)生徒に寄り添う姿勢が本当に全教職員の共通理解の下に行われているか再点検したい。
- ・不登校支援については、小学校の様に減少しない原因は、様々な課題や事案が発生した際の対応が適切ではなかった事、各教科の基礎・基本の定着、分かる授業、分かる学習内容の提供が出来なかった事も大きいと考えられる。
- ・今年度、様々な課題が見られ、派生して問題も生じてきたので、この反省の上に来年度に向けてどの様な改善を図るか検討している。
- ・制服の見直しはR9年度中の実施を明確なゴールと定め、推進していく。

< A委員 >

辰野西小学校と辰野南小学校で授業観の転換、「教え主義からの脱却」とありますが、これは本当に難しい事です。先生方にどうやって授業観を転換させていくのか、或いは講義的な「教える授業」から脱却していくのか。こう書くのは簡単です

が、どうやって進めて行くのかなと思いました。辰野南小学校の6年生が話を聞く事に慣れてしまったとありますが、話を聞ける子、慣れてしまった子は本当に話を聞いているのか、そこの辺りを先生達がしっかり意識しないとイケません。先生達が聞き返しをすとか、他の子の意見について他の子から深堀する意見を聞くだとか、工夫をしないと転換はできないだろうなと思います。とても難しい事だと思います。この間の小山田南小学校では校長先生のビジョンが凄いなと思いました。この学校は学力が低いから、どうしたら良いのだろうと一生懸命考えて辿り着いたのが100マス計算や音読等でしたが、やり方の良い悪いは別として、凄く考えてどうやったら、教え込んでいる学習が主体的な学習になっていくのかという事を戦略的に考えていかないと、なかなか脱却はできないと思います。

<宮澤教育長>

これまで校長会では各校から挙げて頂いていましたが、来月の校長会では、授業観の転換について、これまでも口にしていましたが、授業改善とはどうする事なのか、どうしてできないのか、そんなディスカッションを校長同士でしょうかと思っています。

<B委員>

南小のところにICTの活用とありますが、ICT環境を整えましたがこれをどう活用するか。今の子ども達は興味を持たせれば、ゲーム感覚で絶対にやると思います。つくばでの視察の時もそうでしたが、昔は意見のある子が挙手をして意見を言っていました、全員の意見が集める事ができます。あれがICTの特徴だと思います。整えたこの環境を活かすべきだと思いますし、活かさきれていないのではないかと思います。タブレットでは遊んでしまうという思いなのか、ICTが苦手なのかは分かりませんが、有効活用して頂きたいと思います。

(4) 小中学校あり方検討委員会パブリックコメント

- ・宮澤教育長より説明。

パブリックコメントの募集期間が残り1週間程となった。次の検討委員会では提言書に向けて、纏まっていく予定。あり方検討委員会から出てきた提言書を基に教育委員会で決めていく。

(5) 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告

- ・宮澤教育長より説明。

現在、進めている。次回2月の教育委員会で提出予定。

(6) その他

- ・竹村学校支援課長より小学校の給食費の無償化について現状説明。

<竹村学校支援課長>

町の対応は決定しておりませんが、1人当たり5,200円の補助が国と県から11か月分出てくる事が決定しています。町の給食費に当てはめると1食当たり70円程不足してきます。これをどうするかは決まっています。近隣市町村を見ると、永年ではなくとりあえず令和8年度ですが、無償化していくと検討している自治体が多いです。たまたま今は、物価高騰の補助金と言うのが町に来ていまして、これは学校だけに使うのではなく、町全体ですが、その交付金も使いながら、やっていく事を検討している。全額負担するかというところはまだ検討していないので、何とも言えませんが、周りの状況を見ていると「無償化」の方向で進んでいるので、辰野町としても検討していきたいと思っていますところです。

<宮澤教育長>

近隣の状況では中学校はどうでしょうか。

<竹村学校支援課長>

中学校は、飯島町は「無償化をしたい」、他はまだ出ていません。箕輪町は小学校も「検討中」になっていますが、教育長の動向によると「無償化」。

<C委員>

不足分を町でみて無償化とするとどの位になりますか。

<竹村学校支援課長>

中学の物価高騰分について、来年度は町で負担していく方向で予算要求しています。保護者負担は今迄通り頂く予定です。小学校は予算要求しましたが、5,200円という話が今出てきていますので、1食当たり70円分をどうするかという所はまだ検討されていません。今は、小学校は1食当たり50円分の負担をしていますのが、物価高騰もあり、来年度は国の補助を入れて不足が1食当たり70円程になる所をどうするかという状態です。1人当たり1年で200食×70円=14,000円の児童・生徒数分となります。

<D委員>

給食を食べさせて頂いている側としては、個人的にお金を払いたくないとは思いません。作って食べさせて頂いているだけでありがたいと思います。皆も同じ様に思っていると思いますが、誰が無償化と言っているのかと誤解してしまいます。よ

くインフルエンザ等で欠席した時は、欠食分として返して頂きますが、突然休んだものなので、返して頂かなくていいですとも思います。

<宮澤教育長>

確かにPTAから無償化にして欲しいという意見は出てきた事はありません。

<竹村学校支援課長>

今迄、小学生は保護者負担1食当たり290円ですので、ここは確実に下がってきます。0円になるのか70円になるかは分かりませんが、そんな状況です。

<E委員>

国や県からの補助は永久に来るという事ですか。

<竹村学校支援課長>

そこは不明です。今の所は、来年度です。1年で終わるという事はないと思われませんが、国は突然梯子を外す事もありますので、分かりません。塩尻市、松本市、岡谷市が無償化、箕輪町が検討中ですが、恐らく無償化。宮田村、飯島町、伊那市も無償化。中川村が検討中。南箕輪村は保護者負担を取るという方針ですが、周りがこれだけ無償化になってしまうと、どうなるかという所です。

・福島学びの支援課長より男女共同参画プランのパブリックコメントについて

<福島学びの支援課長>

パブリックコメントですが、今年度、男女共同参画の第5次が終了の年となります。来年度に改定という事で、進めています。昨年度の秋から冬に掛けて1,000人の方にアンケートを取って、少し回答率が悪いのですが、350人程の方々から意見を反映しながら、新しいものを作りました。第5次を策定した時と比べて世の中が大きく変わっているという所と、政策を展開していくのに指標を設けてやっていくというご意見を頂きましたので、第5次からは大幅に内容が変わっています。様々な課題に対して各課から施策を挙げて頂いて作らせて頂いています。1月20日から2月20日迄の1か月間パブリックコメントを実施し、それをこのプランに反映させて、今年度中にこのプランを提案として纏める事としています。今年度、印刷・製本の予算が無かったので、来年度に予算要求していますので、それで印刷をして、ダイジェスト版を全戸にお配りする事を計画しています。アンケートの中では家庭の中のアンコンシャスバイアスが一番根強く残っているとの事ですので、そういった所を理解してもらえる様、計画しています。20日過ぎに町ホームページに掲載しますので、見て頂きながら、ご意見を頂ければと思います。

7 報告事項

(1)市町村教育委員会連絡協議会報告

- ・宮澤教育長より市町村教育委員会連絡協議会報告。
- ・資料として「1月市町村教育委員会連絡協議会（報告）」を提示。

8 閉会